

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中 報告日 2019年9月27日

派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(2日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	小山市	代表者名	大久保 寿夫
担当者部署	総務部	連絡先電話番号	0285-22-9342
担当者役職		担当者氏名	
住所	323-8686 栃木県小山市中央町1-1-1		

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	原田 智
評価	よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	講演会については、聴講者に対し、興味をひきおこさせるように、かつ、デジタル化だけを過信しないよう、業務の見直しを実施しながら進めるよう講演内容にちりばめながらお話し、いただいた。また、市の都合で30分で途中退出せざるを得ない幹部職員も出席していたが、講演時間90分を、30分と60分の2部編成にさせていただき、途中退出の職員でも、講演の概要が分かるように、かつ90分聞ける職員には、詳細まで含めての説明と、講演内容を上手くまとめていただいた。
アドバイザーへの要望事項	職員への火付けは終わったので、次回年度末予定の支援では、業務の進捗具合や実績に意見をいただきたい。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2019年9月20日	9時00分	12時00分	10	170
3-2. 派遣場所	会場名	小山市役所		最寄駅	小山駅
	所在地	栃木県小山市中央町1-1-1 小山市役所			
	最寄駅からの交通手段	徒歩 500M			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="checkbox"/> 掲載可
------	---

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	小山市職員	70人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	○市内のデジタル化を進めるには、業務課である原課の協力が必要だが、業務改善の取組に対する熱意と問題意識は原課、人によりバラつきがある。 ○計画作成については、項目の頭出しだけならば、公表の資料等でも可能だが、施策実施の体験談(成功例や失敗例など)が聞ければ、今、見えていない課題の発見などが得られ、より実質的な計画に近づく。	
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	○講演会でアドバイザーとの意見を交わすことで、原課の職員もデジタル化を身近な課題として、捉えることができる。 ○デジタル化推進プロジェクトの計画をアドバイザーの体験談を考慮した上で、計画等を検討、作成できれば、より実効性のある施策に近づく。	
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	市の部長から一般クラスまでの職員約70名を対象に、デジタル化の講演をいただき、講演会終了後は、市のデジタル化推進委員となっている職員約20名との膝を交えた意見交換会を実施していただいた。	
支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	何かしなければ、取り組まなければという意識はあるが、自身を取り巻く周囲の状況を知ることで、原課の職員も目標がより具現化したのではないと思う。 AIやRPAを進めていくにしても、AIやRPAは万能で全てを解決するのではなく、「まずは、業務のプロセスを見直すことが大事」との指摘には、自分の課の業務プロセスを見直すことの再確認であり、業務改善とはAIやRPAを導入することでなく結局は業務プロセスを見直すことという基本に立ち返れたと思う。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑦その他 市職員間にデジタル化に取り組む意識が高まった。
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容(具体的にご記入ください)	今回の講演会及び意見交換会の目的は達成できたと思う。今後、原課でデジタル化の計画を立て、IT推進課でまとめ、実施していただくことになる。実績や進捗状況については、再度、年度末にアドバイザーにご覧いただき意見をいただきたいと思っている。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 別添	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるもののリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある
事業の最終的な目指す姿	"スマート自治体"～「society5.0時代の地方」を実現するスマート自治体への転換～で描かれるシステムの標準化、AI・RPAの活用により、将来の人口削減社会においても小山市が持続可能な形で行政サービスを提供し続け、住民福祉の水準を維持していく。	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。



講演会の様子1
テーマ
小山市のデジタル化推進に向けて
～RPA、AIの活用について～

講演会の様子2
AIの活用について説明している場面



意見交換会の様子
講演後に行われたプロジェクト委員と意見交換。
職員活性課長と意見交換している場面